

鹿児島大学生協 あつまれ鹿大生の森



[新学期]

取り組み概要

日時：3月31日～4月2日（1日2ターム全6回）

1ターム約2時間

場所：共通教育棟2号館211教室

参加者数や組合員の反応：3日間で計206名

会自体の満足度について「満足」、「やや満足」の回答は100%を達成した.....

背景や概要：

..... 新生が友達をつくり、入学後の大学生活を楽しく送れるよう支援するとともに、同級生との交流や先輩からの情報提供を通じて大学生活への不安を軽減することを目的に開催

01 新生同士交流の第一歩 ・アイスブレイク「Ito」 ・パーセントバルーン

本企画では、アイスブレイクとして「Ito」を実施しました。「欲しい超能力は？」等参加者同士が気軽に会話できる内容となっており、初対面でも自然にコミュニケーションが生まれるきっかけになっていました。また、メインゲームとして「パーセントバルーン」を行いました。問題内容には鹿児島大学や鹿児島県に関するテーマを取り入れ、新生が**楽しみながら地域や大学について知ることができる工夫**を行っていました。グループで話し合いながら答えを考えることで交流が深まり、これから始まる大学生活について考えるきっかけにもなりました。



02 大学生活を具体的にイメージ 鹿大生の1日・大学生協紹介

「鹿大生の1日の流れ」の紹介や大学生協・組織部についても説明を行いました。「鹿大生の1日の流れ」では、実際の大学生活を先輩組合員の視点から**動画を使って面白く紹介**されていました。授業編では「授業に間に合う！」

「授業中に居眠りする」など「いい例◎と悪い例✕」を用いて、伝えることで、**新生が入学後の生活を具体的にイメージできる**機会となりました。また、大学生協やその施設について生協職員から説明も行いました。加えて組織部の紹介も行い、認知の向上にもつながりました。参加後アンケートでは**今後の組織部の企画への参加に対して92.8%の人が肯定的な回答**をしていました.....



03 新生ファーストの企画運営 組織部の強みを生かした取り組み

運営面では、「**新生に楽しんでもらうこと**」を第一に考えながら準備を進めました。当日部員の中には、新生一人ひとりの名前を覚えるためにメモを取り、積極的に名前を呼びかける姿も見られました。また、紙媒体でのアンケート作成やダブルGL体制の導入など、さまざまな状況を想定した運営を行うことで、参加者が安心して交流できる環境づくりにつなげていました。さらに、先輩・後輩を問わず**組織部全体で連携・協力**し、課題の発見から改善までを迅速に実行できたことも大きな成果になりました。

